

山口市子どもの貧困対策推進計画【概要版】

(第二期山口市子ども・子育て支援事業計画 第6章)

策定にあたって

- 1 計画の経緯
本市の子どもの貧困対策を推進し、貧困の連鎖を断ち切り、すべての子どもたちが将来に夢や希望をもって成長していけるよう、その行動指針となる「山口市子どもの貧困対策推進計画」を策定するもの。
- 2 計画の位置付け
(1) 子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条第2項に基づく計画
(2) 「第二期山口市子ども・子育て支援事業計画」に「第6章」として内包
- 3 計画の期間 令和6年度まで(第二期山口市子ども・子育て支援事業計画と同期間)

現状と課題

【現状の整理項目】

- 子どもの生活実態調査について
(R1県調査から市回答を抽出)
 - ①生活困難度
 - ②教育に関すること
 - ③生活に関すること
 - ④就労・経済状況に関すること
 - ⑤制度利用・相談に関すること
- 生活保護世帯等
- 就学援助受給者数

【本市の現状】

- 経済的な理由から、子どもに受けさせたい教育段階を低くせざるを得ないと考える保護者も見受けられる。
- 自己肯定感の低い子どもが一定数見られる。
- 現在の暮らしが「苦しい」と感じている保護者が半数近く見られる。
- 「相談窓口や方法を知らない」「抵抗感があったりする」と回答した保護者が1割程度見られる。

※「①生活困難度」の階層別傾向については、市の回答数が少ないため、県全体の傾向を記載しています。

【課題】

- ① 教育に関する課題
(1) 家庭の状況にかかわらず、すべての子どもが安心して教育を受けられることができるように支援をすることが必要
(2) 経済的な理由で断念することなく、未来へ希望を持って進んでいけるように支援をすることが必要
- ② 生活に関する課題
(1) 正しい生活習慣を身につけるための支援が必要
(2) 保護者と子どもが時間と心にゆとりを持てるように支援することが必要
(3) 保護者と子どもが悩みや困りごとを相談できる場をつくることが必要
(4) 子どもたちが社会生活を営む上で、必要な力を身につけられるよう、多様な世代の人たちとふれあい、様々な経験を積ませることが必要
- ③ 就労・経済状況に関する課題
(1) 仕事と両立して安心して子どもを育てられる環境づくりが必要
(2) 生活が困窮している家庭には、経済的な支援だけでなく、現物給付を含めた様々な必要な支援を組み合わせることが必要
- ④ 制度利用・相談に関する課題
(1) 子育ての不安や悩みについて、わかりやすく情報を提供できる仕組みや相談しやすい体制を構築することが必要
(2) 支援が届かない・届きにくい子どもや家庭とつながり、必要な支援を届けることが必要
(3) 貧困問題は、複合的な要素が絡むことが多いため、関係機関が連携し、様々な支援を組み合わせ、その効果を高め、切れ目のない支援をすることが必要

施策の方向性

1 基本目標

すべての子どもが、生まれ育った環境によってその将来が閉ざされることのないよう、夢と希望をもって成長していけるまち 山口

2 基本方針

- ① 子どもの育ちと学びへの支援(教育の支援)
- ② 生活の安定に向けた支援(生活、就労、経済的支援)
- ③ 連携協力による支援(早期発見のための取組)

施策体系

3つの基本方針に基づき、国の「子供の貧困対策に関する大綱」及び山口県の「山口県子どもの貧困対策推進計画」に規定する施策体系に沿った取り組みに、本市独自の施策として「5.早期発見のための取組」を加えて進めていく。

1. 教育の支援

- ①幼児教育・保育の無償化
- ②プラットフォームとしての学校指導・運営体制の構築
- ③進学に対する教育機会の提供
- ④特に配慮を要する子どもへの支援
- ⑤教育費負担の軽減
- ⑥地域における学習支援等
- ⑦その他の教育支援

2. 生活の安定に資するための支援

- ①妊娠・出産・子育てに資するための支援
- ②保護者の生活支援
- ③子どもの生活支援
- ④住宅に関する支援
- ⑤支援体制の強化

3. 保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援

- ①職業生活の安定と向上のための支援
- ②ひとり親に対する就労支援
- ③ふたり親世帯を含む困窮世帯等への就労支援

4. 経済的支援

- ①児童手当・児童扶養手当制度の着実な実施
- ②各種減免制度
- ③実費徴収補足給付事業

5. 早期発見のための取組

- ①山口市子どもの貧困対策連絡会議
- ②要保護児童対策地域協議会
- ③山口市家庭児童相談室
- ④各種団体との連携

指標

国の大綱で設定された39の指標のうち、本市で数値の把握が可能な10項目について指標を設定し、指標改善に向けて施策に取り組む。また、市独自の指標を設定し、目標達成に向けて施策を展開する。

- 指標①自分には、よいところがあると思いますか。(全国学力学習状況調査)
- 指標②子どもの発育や育児など子育てに関しての不安や悩みを解決できていますか。(まちづくりアンケート)